

第113期



中間期 株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで



株式会社 寺岡製作所

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第113期中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況のご報告にあたりご挨拶申し上げます。

中間期の業績概況

当中間期におけるわが国経済は、4～6月においては、新型コロナウイルスの感染ピークアウトに伴う行動制限の緩和により、飲食業や小売り・娯楽施設を中心に個人消費の持ち直しが見られたものの、7月以降急速に広まった「第7波」が足かせとなってサービス消費が伸び悩み、回復ペースは鈍化しました。

また、9月には1ドル＝140円台に突入し、歴史的な円安が進むなか、輸出企業には輸出量の拡大や利益の改善をもたらしているものの、多くの企業にとっては輸入物価の上昇でコスト増要因となっており、日銀の全国企業短期経済観測調査（短観）では大企業製造業の業況判断指数（DI）は3期連続で悪化となっています。

一方、世界経済に目を移すと、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー供給不安に続いて、9月の米国の消費者物価指数（CPI）が前年同月比8.2%上昇し家計を圧迫、中国においては、スマートフォン市場の低迷が続いており、2022年1月～6月期の出荷台数は前年同期比2割減り、2022年通年では10年振りの低水準になる見通しとなっています。加えて中国のゼロコロナ政策継続や台湾情勢の緊迫などの懸念もあるなど、更に先行きの不透明感が増えています。

このような想定外の為替変動を含め様々な地政学的リスクが顕在化した経営環境のなか、当社グループにおいては、2025年度を最終年度とする5年間（2021年4月～2026年3月）に亘る第三次中期経営計画の2年目を迎えました。戦略の一部修正も行いつつ、営業・研究・生産部門が連携を強化し、現有ビジネスの深掘りと新規ビジネスの探索に注力したものの、販売主要マーケットのひとつである中国市場の需要停滞の影響から、売上高は前年同期と比べて大きく減少しました。

また、値上げによる採算改善および販管費を中心にコスト削減を図ったものの、急激な円安やそれに伴う原材料価格、燃料費および仕入商品が更に高騰したこと、売上高減少や新生産ラインの安定稼働の遅れに伴い、生産数量も減少したこと等により製造原価が上昇しました。加えて、市況の低迷により長期不動在庫に対する評価損がほぼ解消できなかった等により、売上原価が大幅に上昇したことから、利益面でも極めて厳しい結果となりました。

その結果、当社グループの当中間期の売上高は95億3百万円（前年同期比12.8%減）となりました。営業損失は8億5百万円（前年同期は1億22百万円の営業利益）、外貨建債権にかかる為替差益2億64百万円を営業外収益として計上したものの経常損失は4億87百万円（前年同期は2億4百万円の経常利益）、固定資産売却益1億50百万円を特別利益として計上したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億46百万円（前年同期は57百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

配当について

当社は、安定的な配当の継続を利益還元の基本方針といたしており、経営成績、今後の事業戦略などを総合的に勘案し、決定することとしております。

このような基本方針のもと、第113期の中間配当につきましては、1株につき3円とさせていただきます。

期末配当予想につきましては、1株当たり5円を予定いたしております。これにより、年間配当予想は1株当たり8円となります。

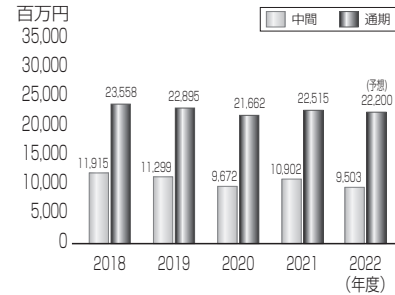
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



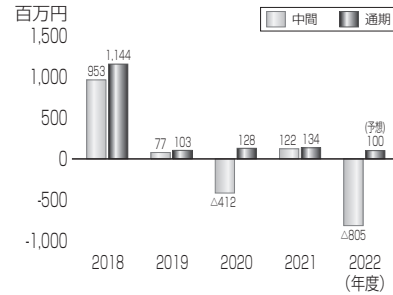
2022年11月

代表取締役会長 寺岡敬之郎 代表取締役社長 辻 賢一

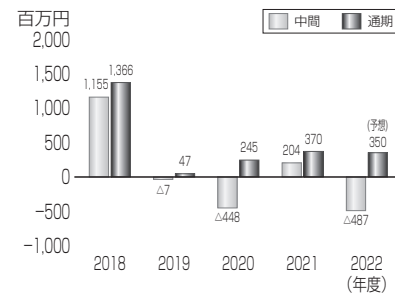
売上高



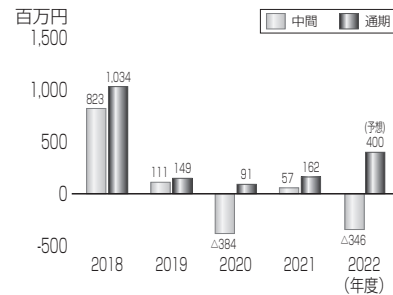
営業損益



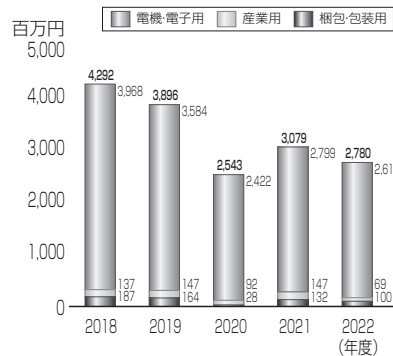
経常損益



親会社株主に帰属する純損益



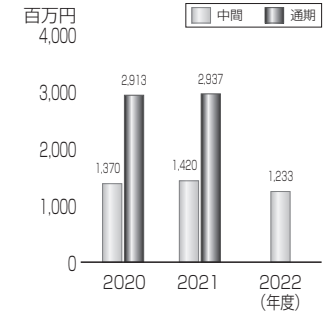
◎中間海外売上高



製品部門別概況

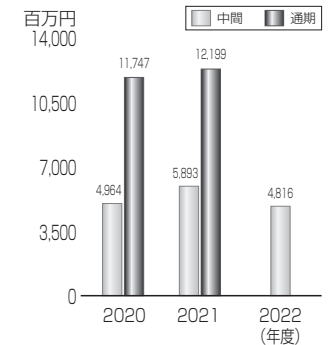
梱包・包装用テープ

物価高による消費者の買い控えの影響により、ホームセンター向けが低調に推移し、当製品部門の売上高は12億33百万円（前年同期比13.2%減）となりました。



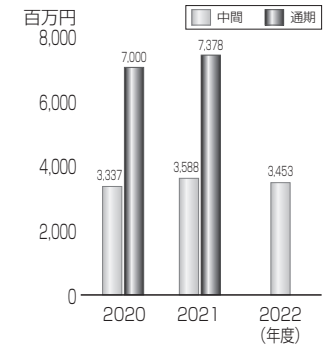
電機・電子用テープ

輸出品品については、円安による為替差益のプラス要因はあったものの、中国のロックダウンおよび世界的なICチップ供給不足に伴う自動車・スマートフォンなどの生産調整により電子部品用テープが低調に推移したため、当製品部門の売上高は48億16百万円（前年同期比18.3%減）となりました。



産業用テープ

梱包・包装用同様、物価高による消費者の買い控えの影響により、ホームセンター向けやオフィス系通販および建築・土木向けポリエチレンクロステープが低調に推移し、当製品部門の売上高は34億53百万円（前年同期比3.8%減）となりました。



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前期末 2022年3月31日現在	当中間期末 2022年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	18,202	16,961
現金および預金	5,470	5,222
受取手形および売掛金	5,627	4,382
電子記録債権	1,426	1,551
商品および製品	2,470	2,463
仕掛品	1,322	1,636
原材料および貯蔵品	1,165	1,429
その他	728	284
貸倒引当金	△9	△9
固定資産	19,240	19,344
有形固定資産	14,854	15,074
建物および構築物	5,603	5,710
機械装置および運搬具	4,361	4,298
土地	4,098	4,144
リース資産	175	166
建設仮勘定	177	372
その他	438	381
無形固定資産	397	362
投資その他の資産	3,988	3,907
投資有価証券	2,870	2,727
繰延税金資産	5	5
退職給付に係る資産	979	974
その他	133	200
資産合計	37,443	36,305

(単位：百万円)

科目	期別 前期末 2022年3月31日現在	当中間期末 2022年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	6,341	5,224
支払手形および買掛金	1,250	1,243
電子記録債務	2,456	2,274
短期借入金	60	123
リース債務	19	19
未払法人税等	159	46
未払費用	485	446
その他	1,909	1,070
固定負債	2,012	1,958
長期借入金	724	713
リース債務	171	161
繰延税金負債	407	352
修繕引当金	1	3
退職給付に係る負債	77	88
資産除去債務	508	508
長期未払金	56	56
その他	65	72
負債合計	8,353	7,182
(純資産の部)		
株主資本	26,870	26,396
資本金	5,057	5,057
資本剰余金	4,643	4,643
利益剰余金	17,632	17,158
自己株式	△462	△462
その他の包括利益累計額	2,219	2,725
その他有価証券評価差額金	1,098	976
為替換算調整勘定	622	1,301
退職給付に係る調整累計額	497	447
純資産合計	29,089	29,122
負債純資産合計	37,443	36,305

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	10,902	9,503
売上原価	8,414	8,037
売上総利益	2,487	1,466
販売費および一般管理費	2,364	2,272
営業利益(△は損失)	122	△805
営業外収益	103	373
受取利息および配当金	39	45
為替差益	33	264
その他	29	63
営業外費用	21	54
事務所移転費用	9	—
不動産賃貸費用	—	23
新型コロナウイルス感染症対応費用	4	21
その他	7	9
経常利益(△は損失)	204	△487
特別利益	3	150
投資有価証券売却益	3	—
固定資産売却益	—	150
税金等調整前中間純利益(△は損失)	208	△336
法人税等	151	10
中間純利益(△は損失)	57	△346
親会社株主に帰属する中間純利益(△は損失)	57	△346

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	期別 前中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	87	865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,197	△670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47	△60
現金および現金同等物に係る換算差額	33	84
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	△1,124	217
現金および現金同等物の期首残高	7,780	4,813
現金および現金同等物の中間期末残高	6,656	5,031

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要(2022年9月30日現在)

社名 株式会社 寺岡製作所
 TERAOKA SEISAKUSHO CO.,LTD.
 創業 大正10年2月11日
 設立 昭和18年5月5日
 資本金 5,057百万円
 従業員数 681名(連結)/502名(単体)

主な事業所
 本社 東京都品川区広町一丁目4番22号
 (〒140-8711)
 TEL (03) 3491-1141
 FAX (03) 3491-1143
 支店 東京・大阪・名古屋・ソウル
 駐在員事務所 台北
 工場 茨城・佐野・函南
 研究所 東京
 子会社 神栄商事株式会社
 寺岡製作所(香港)有限公司
 寺岡(上海)高機能膠粘帯有限公司
 寺岡(深圳)高機能膠粘帯有限公司
 PT. Teraoka Seisakusho Indonesia

役員(2022年9月30日現在)

代表取締役社長 辻 賢一
 代表取締役会長 寺岡 敬之郎
 常務取締役 内藤 雅和
 取締役 滑川 泰志
 取締役 石崎 修久
 取締役 久保 達哉
 取締役 朝倉 信司
 取締役 上川 辰也
 取締役 八田 圭子
 取締役 古市 克典
 常勤監査役 野見山 豊
 監査役 渡邊 順
 監査役 三宅 正樹
 監査役 境 晴繁

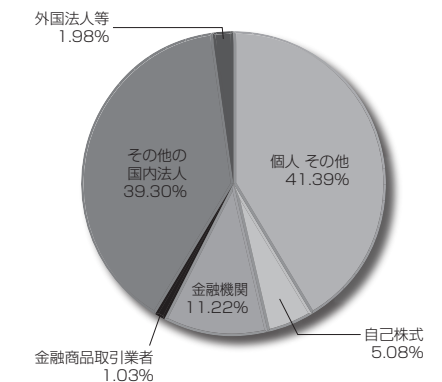
株式の状況(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 26,687,955株
 株主数 4,320名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	6,672.0	26.33%
寺岡製作所取引先持株会	3,013.4	11.89%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	996.5	3.93%
株式会社三菱UFJ銀行	818.8	3.23%
寺岡敬之郎	773.6	3.05%
株式会社りそな銀行	678.8	2.67%
寺岡くに子	526.0	2.07%
寺岡製作所従業員持株会	460.4	1.81%
ヤスハラケミカル株式会社	250.0	0.98%
青山産業株式会社	200.0	0.78%

(注) 持株比率は自己株式(1,355千株)を控除して計算しております。

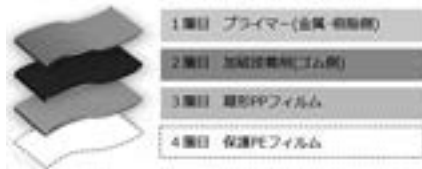
所有者別保有状況



①

ACULAH®

2021年12月「知られざるガリバー」にて、環境対応型加硫接着剤として紹介されたACULAH®は、当社技術で石油化学製品である4層目の保護フィルムを省き、より環境に配慮した製品となりました。現在、「難接着樹脂と金属の接合」および「プリプレグ樹脂とゴムの接合」向けに、採用が見込まれています。



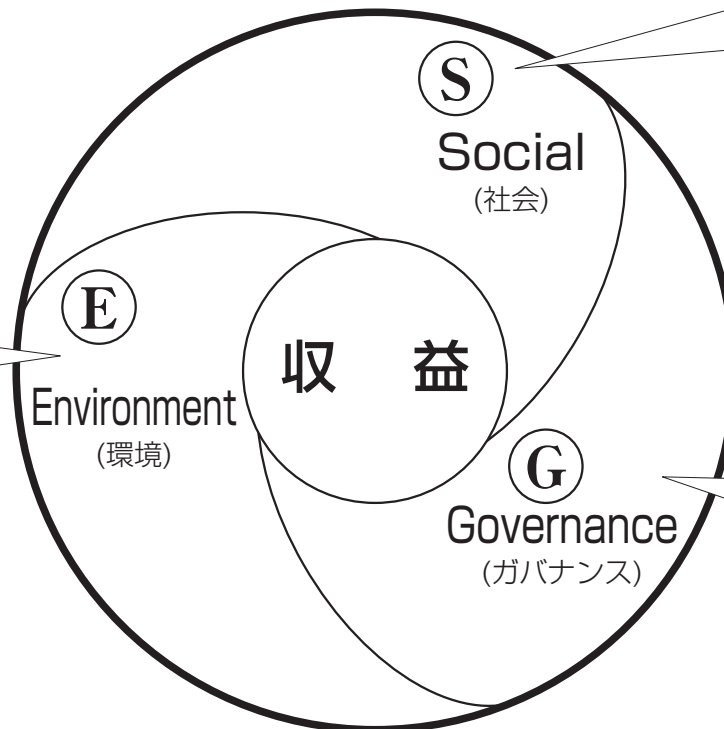
バイオマステープ

当社は2022年11月にバイオマステープを発売しました。テープの基布と粘着剤に植物由来の材料を80%使用するとともに基布に再生PET繊維を使用しております。植物由来材料とリサイクル材料を使用することで、サステナブルな社会に貢献可能な訴求力の高い製品となっております。



ESGと
同期

収益拡大の
化



②

ビジネス・オフィスカジュアル

ESGの取組みとして「ビジネス・オフィスカジュアル(ノーネクタイ・ノージャケット)」を過年に亘り導入します。社員の個性を尊重し、創造性を発揮できる組織風土を醸成することで、サービスや提案力の向上に努めます。



③

CSRガイドライン

当社は2022年4月、CSRガイドラインを制定いたしました。企業の社会的責任をより一層果たすべく、お取引先様とも基本的価値観を共有し、持続可能な社会の実現に努めます。



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
配当金をお支払いする株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合 9月30日)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページアドレス https://www.teraokatape.co.jp/
上 場 取 引 所	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	4987

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 寺岡製作所

〒140-8711 東京都品川区広町一丁目4番22号
<https://www.teraokatape.co.jp/>